



Creating My Future

より輝く附属函館小学校へ

副校長 新田 英樹

3月17日(月)に78回目となる卒業証書授与式を挙行いたしました。昨年に引き続き、多くの参会者に囲まれた温かい雰囲気の中で、卒業生の姿は、凛としており、これからの附属小を支える在校生へのよき見本となっていました。これはまさに創立100周年を締めくくるにふさわしい式と呼べるものです。これもひとえに、長きにわたるコロナ禍においても、お力添えいただいた保護者の皆様はじめ関係の皆様のお陰であり心よりお礼申し上げます。

さて、本日3月24日、令和6年度の修了式を行いました。令和6年度の創立100周年を終え、令和7年度は、新しい時代に即した新たな一歩を踏み出す年となります。これからも教職員一丸となって教育活動を進めてまいりますので、保護者の皆様の変わらぬご理解とご支援をいただきたくお願い申し上げます。今号では101周年となる次年度の学校方針を記載させていただきます。

1 令和6年度の振り返り

前年度の学校評価などにより、コンセプトとしてお示した「プラス One! ~なすべきことを一人一人が考え、実行する学校~」に向かって、次のことを推進してきました。

- (1) 100周年を迎えるにあたり、時代の要請に対応し本校の伝統を守るとともに、児童が自らの成長を感じながら新たな一歩を踏み出すことができる教育活動を推進します。
- (2) 「子供のために研究推進に取り組む学校」、児童が「学びの主体者」になる教育を推進します。
- (3) 多くの人が学校教育に参画・参加する学校を推進します。

以上のことを行うために、目的と対話を重視し、保護者参観日、PTA活動、オープンスクール、研究大会等を開催しました。そのことにより子供も職員も多くの方々と触れ合い、取組のプロセスに応援を受けることで達成感を得ることができました。また、前年度に引き続き子供のために考える時間を確保することを目的として「働き方改革」の取組を進めました。その中でも保護者の皆様には水曜日課や留守番電話へのご理解、欠席フォームへの対応、通信等ペーパーレス化発行などにご協力をいただきました。改めて感謝を申し上げます。

2 次年度の重点教育目標

令和7年度は大きな節目を越え新たな一歩を迎える年度であることから、上記を踏まえ次の重点教育目標を設定するとともに(1)~(3)を推進します。

【重点教育目標】 自分に関わる全ての人のよさを認め、自らの学びに生かす学校の創造

- (1) 児童が「学びの主体者」になる教育を推進する学校
- (2) 子供のために研究推進に取り組む学校
- (3) 学校に関わる全ての人が相手意識をもって、学校教育に参画・参加する学校

100年をかけ附属小学校は伝統を守るとともに発展をしてきました。101年目となる令和7年度の重点教育目標を子供のみならず教職員や保護者の皆様も強く意識し、行動に表すことで本校はより光輝くことでしょう。ご理解とご協力をよろしく願いいたします。

力強く、立派に巣立っていきました

3月17日(月)に第78回卒業証書授与式が挙行されました。

今年度も4、5年生が在校生代表として出席し、保護者の皆様と共に卒業生の門出を祝うことができました。卒業式に臨む凛とした姿や緊張と希望に満ち溢れる表情からは、本校の「強く・明るく・正しく」という校訓そのままに、力強さと、『北海道教育大学附属函館小学校』の卒業生であることへの誇らしさが垣間見えました。



卒業生の6年間の成長は、ご家庭におけるご支援の賜物であることは言うまでもありませんが、本校の教育活動を支えてくださったすべての保護者の皆様のおかげでもあります。卒業生を支え、ともに見守ってくださり、本当にありがとうございました。卒業しても、充実した生活を送ることができるよう、私たちはずっと卒業生の皆さんを応援していきます。そして、その雄姿を見守った4、5年生を中心にした在校生全学年でこれからの附属小学校をつくっていきたいと思います。

「キャリア・パスポート」の取組にご協力ください

本日、お子さんは、今年度の通知表とともに「1年間をふりかえりましょう」のキャリア・パスポートをご家庭に持ち帰りました。自分の1年間の取組がどうであったかという「振り返り」について、学級担任からのコメント欄とご家庭からコメントをいただく欄が設けられています。お子さんの「振り返り」や担任からのコメントをご覧になりましたら、ぜひ、**お子さんの「振り返り」を認め、今後に向けて励ましていただくようなコメントをご記入ください。**そして、**新学期に新担任までご返却**いただきますよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。「キャリア・パスポート」は高等学校在学中まで使用する教材です。紛失のないよう、ご配慮ください。

今までありがとうございました！～退任される職員の紹介～



新田 英樹 先生

4年間（通算17年間）の本校勤務を経て、松前町立大島小学校へ校長として赴任されます。

一般職員時代も含め17年間、たいへんお世話になりました。振り返ってみると私の教員人生32年間の半分以上が附属小での経験となります。この間、お子さんはもちろんのこと保護者の皆様や地域の方々からたくさんの勇気と元気をいただきました。「われらは附属小学校」このことを私自身も胸に秘め新天地でも精進してまいります。ありがとうございました。



福山 央 先生

6年間の本校勤務を経て、八雲町立熊石中学校へ教頭として赴任されます。

保護者の皆様の支えをいただきながら、附属函館小学校の子供たちと6年間一緒に過ごしてまいりました。授業中に見せる真剣な表情。何気ないことで笑い合った日。「できた！」ととびっきりの笑顔を見せてくれた瞬間など、子供たちの輝く姿の数々が思い返されます。4月から八雲町熊石での勤務となります。新任地から附属函館小学校の子供たちのことを応援しています。6年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。



石崎 寿和 先生

8年間の本校勤務を経て、函館市立桔梗小学校へ赴任されます。

勉強や行事を全力で楽しむ子供たち、温かく見守ってくださる保護者の皆様、子供ファーストで熱い先生たちと共に歩んだ8年間は、私にとって大切な大切な「宝物」となりました。何事にも粘り強く最後までやり抜く子供たちから「子供って無限の可能性を秘めているんだな。」と教えてもらいました。一緒に笑って、一緒に泣いて、たまに怒って……。そんな毎日が幸せでした。今まで支えていただいたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。101年目を迎える附属函館小学校をこれからも応援しています。



松下 裕幸 先生

6年間の本校勤務を経て、北斗市立中川小学校へ赴任されます。

6年間お世話になりましたことに、心から感謝申し上げます。本校に勤めた6年間においては、保護者の皆様をはじめ、児童、教職員、地域の方々等の温かい支えをいただきながら、多くのことを勉強させていただくとともに、今後の人生の糧となる貴重な体験をさせていただきました。皆様に支えていただいたご恩を、いつかお返しできるように、今後も精進してまいります。本校のますますの発展と児童の活躍、そして皆様のご多幸をお祈り申し上げます。



角田 昌宏 先生

3年間の本校勤務を経て、退職されます。

3年間、お世話になりました。子供たちから多くのことを学ばせていただきました。特に、この3月に卒業した6年生の皆さんとは、主に算数のTTとして、4年生の時からかわり、日々成長していく姿を見ることができ、とてもうれしく思っています。4月からは、新たな職場（函館市内）から、附属小学校の皆さんを応援していきたいと思っております。保護者の皆様、先生方には感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。



金澤 斎 先生

1年間の本校勤務を経て、退職されます。

毎日聞こえる子供たちの元気な声、授業や行事の声、体育の大きな声、音楽の歌声、たくさんの声を聞きながら元気をもらい、孫の成長を見ている様な一年間でした。保護者の皆様、本当にありがとうございました。

給食調理員の佐藤孝子さんと、杉谷優季乃さんも退職されます。

村田 友美 先生 2年間の育休を終えて、北斗市立石別中学校へ赴任されます。

7年間、大変お世話になりました。育児休業からの異動となり直接のご挨拶ができず、申し訳ございません。附属小学校では毎日、学年問わず多くの児童と接することができ、沢山の喜びと学びを得ることができました。保健室のみならず、あらゆる場面で児童と関わることのできた附属小学校での時間は、私にとって貴重なものとなりました。これからも皆様のご活躍を心からお祈りしております。どうもありがとうございました。

令和7年度 始業式について 4月7日（月）通常登校 11時下校予定

3、5年生はクラス替えが行われます。全学年、児童玄関に氏名と出席番号を掲示しますので、掲示にある学級や出席番号を確認し、新しい鞄箱にケースを入れるよう指導しています。詳しくは各学年の通信等でのお知らせをご覧ください。

また、新学期からの登下校に関わり、安心・安全な登下校にするため、春休み中に登下校時のバス時刻やバス系統、通学路の確認をお子さんと一緒にしていただけますよう、お願いいたします。新年度に元気な子供たちに会えることを楽しみにしています。

